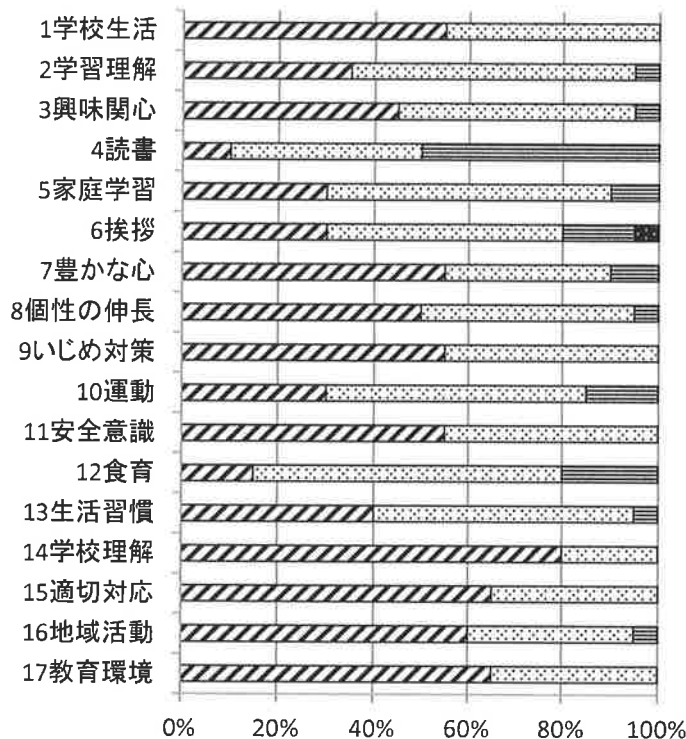


R6 夷隅っ子アンケート 教職員 集計結果

【第1回】



【第2回】



■ A ■ B ■ C ■ D

A→そう思う B→ややそう思う C→あまりそう思わない D→そう思わない

<考察>

「9 いじめ対策」は毎月行っている生活アンケート、教育相談等に加え、生徒指導主任を中心とした校内体制を整え早期発見・早期対応に努め、学級担任のみに任せるのではなく、スクールカウンセラー等も活用しながら組織として対応してきたことが要因と考える。引き続き、児童が安心して生活できる環境づくりに努める。

「6 挨拶」については、代表委員会が中心となって行う継続的なあいさつ運動にとどまらず、強化期間を設けるなどの取り組みをしていることが要因と考える。

「4 読書」については、ポイントの向上がみられる。図書委員会の児童による読み聞かせやマイブックの記述、図書館ボランティアの活動によって、本に親しむ児童が増えていると感じていることが要因と考える。保護者・児童とも、情報を共有できるよう検討したい。

「16 地域活動」については、社会福祉協議会と連携して地域のお年寄りに手紙を書いたり、牧場見学、町探検、スーパー・給食センター見学、有機野菜収穫体験、米作り・お飾りづくり、ふれあい音楽会など、地域の皆様のご支援により、豊かな体験活動ができています。本年度は4年生が自分たちで野菜を育ててみたいと、農家の方に土を分けていただき栽培に取り組んだり、2年生が、町探検のお礼に、自分たちで植えた球根を、お店の方に届けたり、発展する取り組みを行うことができた。保護者や地域にも学校の様子をお伝えすることで、引き続き、開かれた学校づくりを目指していく。

「3 興味関心」や「5 家庭学習」など教職員アンケートでは、第1回より向上がみられるものの、児童・保護者アンケートとの認識の違いが見て取れる。児童個々の実態に応じた丁寧な指導支援により、今以上に児童が「できた」「わかった」と自己の成長を感じ取れるようにしていく必要があると考える。教職員一人ひとりが、自らの資質向上に努めていけるよう、授業準備や研修の時間の充実を図れるよう検討していく。